



福原 越後(ふくばら えちご)

文化 12 年(1815)～元治元年(1864)



人物紹介

〈通称〉^{とのち}主殿・越後 〈幼名〉^{すみのすけ}徴之介
 〈名〉^{かつさだ}勝定・元定・元備 〈号〉^{すいがい}翠崖

萩藩の永代家老。徳山藩主・毛利^{ひろしげ}広鎮の六男として生まれ、寄組の佐世親長^{さ せ ちかなが}の養子となったが、安政 5 年(1858)に萩藩主・毛利敬親の命により永代家老の家柄である福原家に入り、宇部の領主となる。第 9 代徳山藩主・毛利元蕃^{もとみつ}と第 14 代萩藩主・毛利元徳^{のり}(忠愛公)の実兄。

嘉永 4 年(1851)に江戸留守居役、万延元年(1860)当職に任ぜられ、藩主父子を補佐する。文久 3 年(1863)8 月 18 日の政変により藩が失った政治勢力の回復のため、元治元年(1864)の禁門の変(蛤御門の変)では先発隊を率いて戦うも負傷し、敗退。幕府への謝罪のため三家老(益田右衛門介(調べ案内No.1)、国司信濃^{くにししのの}(調べ案内No.7))の一人として切腹を命じられた。50 歳没。

慶応 2 年(1866)に主祭神として祀る宇部護国神社(維新招魂社)が創建された。



資料紹介 県立図書館所蔵の福原越後に関する本



伝記 ※ [] 内は県立図書館の請求記号

- 『贈正四位福原越後公傳』 田中喜市, 1916 [Y289/F 74] 別に写本有当館が所蔵している越後の伝記の中で最も古い資料。
- 『福原越後 維新の前夜』上田芳江 著,福原越後公百年祭記念顕彰会,1966 [Y289/F 74] 長州藩をとりまく情勢における越後の動向が記されている。口絵に墓所等の写真あり。p363 福原家系譜。
- 『宇部郷土史話』 山田亀之介, 宇部郷土文化会, 1955.11 [Y262/I 5] 第二編「福原家時代」(p58～243)は、大正 7～10 年まで宇部時報に連載されていた記事の訂正版。
- 『宇部市史 通史篇 上巻』宇部市史編集委員会 編, 宇部市, 1992.12 [Y262/M 0] 福原家の宇部支配に関して。越後に関する記述は主に「第 7 章 教育」と「第 8 章 幕末・維新期の宇部」に記されている。

- 『維新の英傑 福原芳山の生涯』 堀雅昭 著, 宇部日報社, 2012.12 [Y289/F 74]
越後の養子である芳山の伝記。越後についても禁門の変前後の流れを概説している。
- 『宇部地方史研究』 宇部地方史研究会[Y262/K 2]所収
 - 三宅紹宣「福原越後と禁門の変」 p23-29(平成 15 年 3 月 通巻 30 号)
 - 堀雅昭「禁門の変と長州藩の三家老一福原越後公と国司信濃公一」 p10-28
(平成 27 年 7 月 通巻 43 号)



和歌・漢詩

- 『翠崖詩鈔』 福原元備 著, 1871 [Y289/F 74] 別に写本有
越後が記した漢詩集「翠崖詩鈔」と詩歌集「翠崖詠草」。和装本。
- 『〈資料紹介・翻刻〉 穴戸真澂『にほのうきす』・福原元備『緑浜詠草』』
小野美典 著, [日本大学法学部], 2017.9 [Y911.1/P 7]
p7~8 は越後の略伝。p18 以降『緑浜詠草』（越後の詩文「翠崖詠草」を校訂して
「抄宗寮叢書」に収録されたもの）の翻刻文。
- 『「抄宗寮叢書」と福原元備の『緑浜詠草』』
小野美典 著, [日本大学国文学会], 2017.6 [Y911.1/P 7]
「抄宗寮叢書」の概要・出版の目的に関する考察や、詩文『緑浜詠草』の解説。



文書

- 『福原家文書』上・中・下・別巻 渡辺翁記念文化協会 [Y208/L 3]
福原家に伝わる家文書。上巻は重書類、中巻は福原氏の歴代・宗族および法令規式、
下巻は財政・産業・家中関係・その他地方史料、別巻は一部日記類を主に収録。



子ども向け

- 『山口・人物ものがたり』「山口・人物ものがたり」 研究会編, フレーベル館, 1984.1
[Y280/L 4]
(封建時代最後の武士の生きざまを切腹によって示した悲劇の人 p62-69)
小中学校の先生が山口県にゆかりのある人物の中から 19 人を選び、調査・書き下ろ
した話が収録されている。振り仮名が多く、子どもでも読みやすい。

山口県立図書館は明治維新資料の収集に努めています

山口県立山口図書館 総合サービスグループ
TEL : 083-924-2114 (調査・相談)
FAX : 083-932-2817
ホームページ : <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/>

このほかにも関連資料が
ありますので、詳しくはお問
い合わせください。

作成日：平成 27 (2015) 年 2 月 28 日

改訂日：令和 3 (2021) 年 2 月 27 日